

今年の抱負

どんな年にしよう、新しい毎日



つるせ台小学校 校長
内海 幸一郎さん

新しい生活様式下での教育活動では、人と人とのつながり、子どもから子どもへ伝わるものが、いかに尊いものであったかを再認識させられることが多々あります。

学校は子どもたちにとって一番身近な社会です。ペアや小グループでの対話や学び合い、高学年による低学年各教室での清掃支援、六学年縦割りでの集団遊び、運動会や音楽会、校外学習といった学校行事など、多岐にわたる交流を通じて、子どもたちは豊かに成長し、社会性が育まれて行きます。

引き続き、マスクの着用・適切な距離・人数の制限、内容の縮小などによる感染リスク低減に十分配慮するとともに、工夫を凝らし子ども同士の交流の充実を図ってまいりたいと考えております。

また、例年、つるせ台祭りやつるせ台地区体育祭、合同防災訓練等で本校施設や運動場をご活用いただいております。特に合唱部は歌声を披露させていただく機会もいただいております。前身の旧鶴瀬西小学校と旧上沢小学校の時代から積み上げてきた地域とのつながりをさらに強いものとするべく、地域の皆様や子どもたちとともに知恵を絞り、取り組んでまいります。



学年ごとの音楽会

鶴瀬西交流センター 所長
大堀 一敏さん



新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館中であった令和2年4月、所長として着任しました。本来なら、4月の西交流センター懇親会から始まって、水曜学級、縁日、フェスティバルと、当館をご利用されている多くの方々と出会い、そして交流を通して、鶴瀬西地域発展のお役に立てる仕事をしていきたい…と決意しておりましたが、いずれの事業も中止となり、私にとって残念な年になってしまいました。

今年は、昨年さまざまな事業ができなかった分、コロナが終息し、元の活動に戻ることを願いながら、市内で一番元気で賑わいのある施設にしていくため、気持ちも新たに皆様のご期待に沿うべく業務を遂行してまいります。

また、私事ですが、コロナ禍で長期間自粛していた「ランニング」を昨年末より再開しましたが、全く走れなくなってしまいました。継続は力なり。何事も続けていくことの大切さを、身を持って学びました。各地域でマラソン大会が再開されるころまでには、走りも軽やかになって、フットワークの軽い館長…と皆様から言われるまでに復活したいと思います。

どうぞ本年も変わらぬご指導お引き立てのほど、よろしくお願ひ申し上げます。



2018年実施の縁日



鶴瀬西口通り商店会 会長
浅見 隆広さん

今年西地域は紫色のフラッグです！

昨年はコロナ禍となり、予定されていたイベントが自粛される1年を過ごしました。季節感も感じる間もなく時間が経過した印象です。感染したくない、させたくない、そんな対策をしながらも、各店主はお客様が来てくれなければ商売も成り立たないという経済的問題にも悩まされました。商店会主催で行い好評いただいた9月の「つるせバスケット朝市」もぎりぎりまで開催を悩みましたが中止を決め、西口に毎年賑わいを生む「つるせよさこい祭り」も中止となりました。今年はコロナ対応にも徐々に慣れて、楽しみにして



いただいている方のためにも鶴瀬西口ならではのイベントが開催できるように計画していきたいと思っております。ここ数年、商店会連合会の街路灯フラッグは富士見市特別PR大使のももいろクローバーZと富士見市マスコットキャラクターふわっぴーのコラボデザインによる市内4地区（鶴瀬駅東西口、みずほ台東西口）を4色に分けて彩りを作ってきております。

本年、西口商店会地域は赤色から紫色のフラッグに変わりました。他の地域と合わせて市内の商店会フラッグをお楽しみください。

スマイル商品券、再発見グルメチケットなども大変好評をいただいております。地元のお店でお買い物や食事を安心していただけるような一年となりますことを願って、商店会活動をしていきたいと思っております。



つるせバスケット朝市



鶴瀬西グルメの会
福島 きみさん

以前から考えていた、子ども食堂を今年こそやればと思っております。

子育てが終わって仕事に没頭した20数年。家庭に戻り、地域の人と交流をと考えていたとき、子どもに三世代で食卓を囲んだ、楽しかったことを思い出しました。地域の人と一緒に、核家族、共働き等でゆっくりできない子どもたちに楽しい憩いの場、おいしい食事の場が作れたらと。

コロナの中、子ども食堂の開催は難しくなっていますが、子どもたちにおいしい食事を届けられる場に参加できればと思っています。



鶴瀬西グルメの会 調理室での活動



キラリ☆かげき団等
雁谷 みどりさん

昨年はコロナ禍のため、3月始めからたくさんの催し物が中止に追い込まれました。

私は市内で舞台活動をしています。キラリ☆かげき団と訪問演劇「ギフト」に籍を置いています。キラリ☆かげき団は大きな舞台を毎年3月に一度3回の公演をしています。歌が大好きな人ばかり現

在20人が在籍しています。昨年の公演は10月に延期になりましたが、無事終わる事が出来ホットしたのも束の間、また3月に向けて11月から厳しい稽古が始まりました。訪問演劇「ギフト」は介護、養護、老人ホーム等さまざまな施設や、要望があれば、どこへでも出向いて朗読劇、演劇をやります。昨年は「市民のつどい」にも参加しました。脚本は代表の高橋さんの自作です。月3回のポイストレーニングも6年続けており健康体力維持にも気をつけています。



キラリ☆かげき団公演

演じる喜びと楽しさを皆さまにも届けられる様に続けていきたいと思っております。